

アンケート画面開始

Page 1

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

050100(%)

本調査票におけるのれんは「正ののれん」を前提としています。
ご回答の中で「負ののれん」について考えていただく必要はありません。

SQ1

- カテゴリ 1.ご経験年数/年

必須設定 回答必須

回答制御 回答範囲「0～99」に該当しない場合はアラートを表示

- カテゴリ 2.ヶ月

必須設定 回答必須

回答制御 回答範囲「0～11」に該当しない場合はアラートを表示

SQ1

貴方のアナリストとしてのご経験年数を教えて下さい。

ご経験年数 0 年 0 ヶ月

次へ

050100(%)

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

0 50 100(%)

SQ2 必須設定 回答必須

SQ2

貴方のアナリストとして役割について教えてください。
以下の中からひとつだけお選び下さい。

- 1 ☐ セルサイド・アナリスト
- 2 ☐ バイサイド・アナリスト
- 3 ☐ バイサイド・ファンドマネージャー兼務
- 4 ☐ その他(管理職など)

次へ

0 50 100(%)

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

0 50 100(%)

SQ3 必須設定 回答必須

SQ3

貴方が現在、主に担当している業種について、以下の中から該当するものについて複数お選びください(企業に対する調査と比較するため、産業区分は東証業種分類コードにもとづいています)。(複数回答可)

- | | |
|--------------------------------------|--|
| 1 ☐ 水産・農林業 | 18 ☐ 精密機器 |
| 2 ☐ 鉱業 | 19 ☐ その他製品 |
| 3 ☐ 建設業 | 20 ☐ 電気・ガス業 |
| 4 ☐ 食料品 | 21 ☐ 陸運業 |
| 5 ☐ 繊維製品 | 22 ☐ 海運業 |
| 6 ☐ パルプ・紙 | 23 ☐ 空運業 |
| 7 ☐ 化学 | 24 ☐ 倉庫・輸送関連業 |
| 8 ☐ 医薬品 | 25 ☐ 情報・通信業 |
| 9 ☐ 石油・石炭製品 | 26 ☐ 卸売業 |
| 10 ☐ ゴム製品 | 27 ☐ 小売業 |
| 11 ☐ ガラス・土石製品 | 28 ☐ 銀行業 |
| 12 ☐ 鉄鋼 | 29 ☐ 証券・商品先物取引業 |
| 13 ☐ 非鉄金属 | 30 ☐ 保険業 |
| 14 ☐ 金属製品 | 31 ☐ その他金融業 |
| 15 ☐ 機械 | 32 ☐ 不動産業 |
| 16 ☐ 電気機器 | 33 ☐ サービス業 |
| 17 ☐ 輸送用機器 | |

次へ

0 50 100(%)

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

0 50 100(%)

のれんの会計処理(「減損処理のみ(非償却)」と「規則的償却+減損処理」)について貴方のご意見をお尋ねいたします。

Q1 必須設定 回答必須

Q1

のれんについて画一的な会計処理方法が求められる場合に、貴方にとってより望ましい会計処理は「減損処理のみ(非償却)」ですか、それとも「規則的償却+減損処理」ですか。
以下の選択肢から該当するものをひとつだけお選びください。

- 1 ☐ 減損処理のみ(非償却)
- 2 ☐ 規則的償却+減損処理
- 3 ☐ どちらでも構わない

次へ

0 50 100(%)

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

050100(%)

前問Q1で「減損処理のみ(非償却)」を選択した方にお尋ねいたします。

Group	回答者条件	Q1 = 「1. 減損処理のみ(非償却)」
Q1_1_1	必須設定	回答必須
Q1_1_2	必須設定	回答必須
Q1_1_3	必須設定	回答必須
Q1_1_4	必須設定	回答必須
Q1_1_5	必須設定	回答必須
Q1_1_6	必須設定	回答必須

Q1_1
 以下に挙げた理由は、貴方にとって減損処理のみ(非償却)の方が望ましいと考える理由としてどれほどあてはまっていますか。
 それぞれについて該当するものをひとつずつお選びください。(それぞれひとつずつ)

		あてはまる	どちらかというにあてはまる	どちらかというにあてはまらない	あてはまらない	わからない
	右の選択肢からお選びください					
1	のれんに関して耐用年数や減価のパターンを予測するのは困難だから	1○	2○	3○	4○	5○
2	のれんの価値はその後の企業努力によって維持されるから	1○	2○	3○	4○	5○
3	のれんの償却費や償却後ののれん残高は、財務諸表利用者にとって有用ではないから	1○	2○	3○	4○	5○
4	適切な減損テストが行われれば、規則的償却の必要性はなくなるから	1○	2○	3○	4○	5○
5	のれんを償却しなくてよい他の企業との比較可能性を損なうから	1○	2○	3○	4○	5○

6	規則的償却を認めると減損損失がもつシグナリング効果を低減させるから	1 ☐	2 ☐	3 ☐	4 ☐	5 ☐
---	-----------------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------

Q1_2 **回答者条件** Q1 = 「1. 減損処理のみ(非償却)」

- カテゴリ 1.FA

必須設定 無回答可

入力文字数 400文字まで

Q1_2
Q1_1に挙げられた理由以外に、減損処理のみ(非償却)の方が望ましい理由があれば以下の回答欄にご記入ください。

次へ

0 50 100(%)

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

050100(%)

前問Q1で「規則的償却+減損処理」を選択した方にお尋ねします。

Group 回答者条件 Q1 = 「2. 規則的償却+減損処理」

Q1_3_1 必須設定 回答必須

Q1_3_2 必須設定 回答必須

Q1_3_3 必須設定 回答必須

Q1_3_4 必須設定 回答必須

Q1_3_5 必須設定 回答必須

Q1_3_6 必須設定 回答必須

Q1_3_7 必須設定 回答必須

Q1_3
以下に挙げた理由は、貴方にとって規則的償却+減損処理が望ましいと考える理由としてどれほどあてはまっていますか。
それぞれについて該当するものをひとつずつお選びください。(それぞれひとつずつ)

		あてはまる	どちらかという とあてはまる	どちらかという とあてはまらない	あてはまらない	わからない
	右の選択肢からお選びください					
1	のれんが表す超過収益力は市場競争によって徐々に減価するから	1 ☐	2 ☐	3 ☐	4 ☐	5 ☐
2	適切な期間配分によって収益と対応させるため	1 ☐	2 ☐	3 ☐	4 ☐	5 ☐
3	のれんの中で減価しない部分と減価していく部分は区別できないから	1 ☐	2 ☐	3 ☐	4 ☐	5 ☐
4	他の償却性資産の会計処理と整合的な会計処理だから	1 ☐	2 ☐	3 ☐	4 ☐	5 ☐

5	規則的償却は減損処理によって代替できないから	1 ☐	2 ☐	3 ☐	4 ☐	5 ☐
6	より慎重な合併・買収(M&A)の意思決定が促されるため	1 ☐	2 ☐	3 ☐	4 ☐	5 ☐
7	減損処理のコストが軽減されるため	1 ☐	2 ☐	3 ☐	4 ☐	5 ☐

Q1_4 回答者条件 Q1 = 「2. 規則的償却+減損処理」

- カテゴリ 1.FA

必須設定 無回答可

入力文字数 400文字まで

Q1.4

Q1.3に挙げられた理由以外に,規則的償却+減損処理の方が望ましい理由があれば以下の回答欄にご記入ください。

次へ

0 50 100(%)

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

0 50 100(%)

Group 回答者条件 Q1 = 「2. 規則的償却+減損処理」

Q1_5_1 必須設定 回答必須

Q1_5_2 必須設定 回答必須

Q1_5_3 必須設定 回答必須

Q1_5_4 必須設定 回答必須

Q1_5_5 必須設定 回答必須

Q1.5

企業がのれんの償却期間を決定するにあたり、以下に挙げた要因をどれほど重視していると思われますか。各要因について該当するものをひとつずつお選びください。(それぞれひとつずつ)

右の選択肢からお選びください		あてはまる	どちらかというにあてはまる	どちらかというにあてはまらない	あてはまらない	わからない
1	経営者の計画にもとづく投資の回収可能期間	1 ○	2 ○	3 ○	4 ○	5 ○
2	シナジーが持続すると見込まれる期間	1 ○	2 ○	3 ○	4 ○	5 ○
3	被取得企業が単独でより高い将来キャッシュフローを維持すると見込まれる期間	1 ○	2 ○	3 ○	4 ○	5 ○
4	関連する有形固定資産の耐用年数	1 ○	2 ○	3 ○	4 ○	5 ○
5	関連する他の無形固定資産の耐用年数	1 ○	2 ○	3 ○	4 ○	5 ○

Q1_6 回答者条件 Q1 = 「2. 規則的償却+減損処理」

- カテゴリ 1.FA

必須設定 無回答可
入力文字数 400文字まで

Q1_6

企業がのれんの償却期間を決定するにあたり、Q1_5で挙げられているもの以外に重視していると考えられる要因があれば以下の回答欄にご記入ください。

次へ

0

50

100(%)

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

0 50 100(%)

Q1_7

必須設定 回答必須

回答者条件 Q1 = 「2. 規則的償却+減損処理」

Q1_7

のれんの会計処理として規則的償却が望ましいとした場合、のれんの償却期間に関する規定をどのように定めるべきだと思いますか。
貴方にとってもっとも望ましい回答をひとつお選びください。

- 1 ☐ 償却期間の上限を設けるべき
(例:「〇〇年以内で償却」という規定とすべき)
- 2 ☐ 画一的な償却期間を設けるべき
(例:「〇〇年で償却」という規定とすべき)
- 3 ☐ 償却期間に関する規定を設けるべきではない

次へ

0 50 100(%)

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

0 50 100(%)

Q1_7で「償却期間の上限を設けるべき」とご回答された方にお尋ねいたします。

Q1_8

必須設定 回答必須

回答者条件 Q1_7 = 「1. 償却期間の上限を設けるべき(例:「〇〇年以内で償却」という規定とすべき)」

- カテゴリ 5.その他

- カテゴリ 5.その他 の詳細入力 1

必須設定 回答必須

入力文字数 2文字まで

回答制御 回答が半角数字 に該当しない場合はアラートを表示

回答制御 Q1_8.SNT5_1 ≠ 20, 15, 10, 5 に該当しない場合はアラートを表示

回答制御 Q1_8.SNT5_1 >= 1 かつ Q1_8.SNT5_1 <= 99 に該当しない場合はアラートを表示

Q1.8

償却期間の上限は何年とすべきだと思われますか。

該当するものをひとつお選びください。

なお、「その他」を選ばれた方のみ、回答欄に具体的に年数をご記入ください。

- 1 ☐ 20年
- 2 ☐ 15年
- 3 ☐ 10年
- 4 ☐ 5年
- 5 ☐ その他 年

次へ

0 50 100(%)

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

0 50 100(%)

Q1_7で「画一的な償却期間を設けるべき」とご回答された方にお尋ねいたします。

Q1_9

必須設定 回答必須

回答者条件 Q1_7 = 「2. 画一的な償却期間を設けるべき(例:「〇〇年で償却」という規定とすべき)」

- カテゴリ 5. その他

- カテゴリ 5. その他 の詳細入力 1

必須設定 回答必須

入力文字数 2文字まで

回答制御 回答が半角数字 に該当しない場合はアラートを表示

回答制御 Q1_9_SNT5_1 ≠ 20 , 15 , 10 , 5 に該当しない場合はアラートを表示

回答制御 Q1_9_SNT5_1 >= 1 かつ Q1_9_SNT5_1 <= 99 に該当しない場合はアラートを表示

Q1_9

償却期間は何年とすべきだと思いますか。

該当するものをひとつお選びください。

なお、「その他」を選ばれた方のみ、回答欄に具体的に年数をご記入ください。

- 1 ☐ 20年
- 2 ☐ 15年
- 3 ☐ 10年
- 4 ☐ 5年
- 5 ☐ その他 年

次へ

0 50 100(%)

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

0 50 100(%)

Q1_7で「償却期間の上限を設けるべき」または「画一的な償却期間を設けるべき」とご回答された方は以下の質問にもお答えください。

Q1_10

必須設定

回答必須

回答者条件

Q1_7 = 「1. 償却期間の上限を設けるべき(例:「〇〇年以内で償却」という規定とすべき)」, 「2. 画一的な償却期間を設けるべき(例:「〇〇年で償却」という規定とすべき)」

Q1_10

償却期間に関する規定について例外規定を設けるべきだと思いますか。
以下の選択肢の中から該当するものをひとつお選びください。

- 1 ☐ 設けるべき
- 2 ☐ 設けるべきではない

次へ

0 50 100(%)

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

0 50 100(%)

のれんの資産としての性格についてお尋ねいたします。

Q2 必須設定 回答必須

Q2

のれんには半永久的に価値が維持される部分があると考えますか。
以下の選択肢から該当するものをひとつお選びください。

- 1 ☐ 全部または大部分の価値は半永久的に維持される
- 2 ☐ 半永久的に価値が維持される部分も、維持されない部分も両方存在する
- 3 ☐ 半永久的に価値が維持される部分はない
- 4 ☐ わからない

次へ

0 50 100(%)

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

0

50

100(%)

Q2で「全部または大部分の価値は半永久的に維持される」または「半永久的に価値が維持される部分も、維持されない部分も両方存在する」を選択した方はQ2_1とQ2_2にご回答ください。

Group **回答者条件** Q2 = 「1. 全部または大部分の価値は半永久的に維持される」, 「2. 半永久的に価値が維持される部分も、維持されない部分も両方存在する」

Q2_1_1 **必須設定** 回答必須

Q2_1_2 **必須設定** 回答必須

Q2_1_3 **必須設定** 回答必須

Q2_1_4 **必須設定** 回答必須

Q2_1_5 **必須設定** 回答必須

Q2_1_6 **必須設定** 回答必須

Q2_1

以下ではのれんを構成する要素として考えられる項目が列举されています。
以下の項目全てについて該当するものをひとつずつお選びください。(それぞれひとつずつ)

右の選択肢からお選びください		減価する	おおむね減価する	おおむね減価しない	減価しない	わからない	のれんの構成要素ではない
1	ブランド	1 ☐	2 ☐	3 ☐	4 ☐	5 ☐	6 ☐
2	営業上のノウハウ	1 ☐	2 ☐	3 ☐	4 ☐	5 ☐	6 ☐
3	独自の技術	1 ☐	2 ☐	3 ☐	4 ☐	5 ☐	6 ☐
4	ビジネス・モデル	1 ☐	2 ☐	3 ☐	4 ☐	5 ☐	6 ☐
5	人的資源	1 ☐	2 ☐	3 ☐	4 ☐	5 ☐	6 ☐
6	立地条件	1 ☐	2 ☐	3 ☐	4 ☐	5 ☐	6 ☐

Q2_2

回答者条件 Q2 = 「1. 全部または大部分の価値は半永久的に維持される」, 「2. 半永久的に価値が維持される部分も, 維持されない部分も両方存在する」

- カテゴリ 1.FA

必須設定 無回答可

入力文字数 400文字まで

Q2_2

Q2_1で挙げられている項目以外にのれんを構成すると考えられる要素があれば以下の回答欄にご記入ください。

次へ

0

50

100(%)

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

0 50 100(%)

以下では、証券分析を行うにあたって「のれん」の情報の取り扱いについてご質問いたします。

Q3 必須設定 回答必須

Q3

証券分析を行うにあたって、純資産の情報を利用する際に、のれんの金額を純資産から控除しますか。以下の選択肢の中からひとつだけお選び下さい。

- 1 ☐ 控除する
- 2 ☐ 控除しない
- 3 ☐ 必ずしも統一されていない
- 4 ☐ わからない

次へ

0 50 100(%)

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

0 50 100(%)

ここからは、「規則的償却 + 減損処理」を求める会計基準のもとで、証券分析を行う際の「のれんの償却費」や「償却後ののれん」の情報の取り扱いについてご質問いたします。

Q4_1 必須設定 回答必須

Q4_1

証券分析を行う際に、分析対象企業が採用する会計基準の違いや償却政策の差を考慮して、利益にのれんの償却費を足し戻していますか(意識して償却費を足し戻すケース以外に、収益性指標としてEBITDAを活用するケースなども含まれます)。
以下の選択肢の中からひとつだけお選びください。

- 1 ☐ 償却費を足し戻す
- 2 ☐ 償却費を足し戻さない
- 3 ☐ 必ずしも統一されていない
- 4 ☐ わからない

次へ

0 50 100(%)

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

0 50 100(%)

Q4_2 必須設定 回答必須

Q4_2

規則的な償却費を控除した後ののれんの金額について、企業価値(株価)を推定する上で有用な情報は含まれていると考えますか。
以下の選択肢の中からひとつだけお選びください。

- 1 ☐ 非常に有用な情報が含まれている
- 2 ☐ ある程度有用な情報が含まれている
- 3 ☐ 有用な情報は含まれていない
- 4 ☐ わからない

次へ

0 50 100(%)

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

0 50 100(%)

以下では,のれん取得後の会計処理として,のれんを規則的に償却すべきか,非償却とすべきかという問題について,別の可能性をふまえた上でご質問いたします。

Q5 必須設定 回答必須

Q5

のれん取得後の会計処理としては「減損処理のみ(非償却)」または「規則的償却+減損処理」のいずれか一方のみを認める以外に次のような方法も考えられます。

- ・「減損処理のみ(非償却)」または「規則的償却+減損処理」の任意選択を認める方法
- ・買収案件ごとに一定の条件(のれんが半永久的に減価しないことが立証できる場合,など)を満たしたのれんは非償却,それ以外は規則的に償却するという方法

以上の方法をふまえた上で,利用者の立場から貴方にとってもっとも望ましい会計処理を選択肢の中からひとつだけお選びください。

- 1 ☐ 減損処理のみ(非償却)
- 2 ☐ 規則的償却+減損処理
- 3 ☐ 「減損処理のみ(非償却)」または「規則的償却+減損処理」の任意選択
- 4 ☐ 買収案件ごとに一定の条件を満たしたのれんは非償却とし,それ以外は規則的に償却

次へ

0 50 100(%)

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

050100(%)

ここからは,これまでとは異なる論点についてお尋ねいたします。

- Q6_1

必須設定

回答必須
- Q6_2

必須設定

回答必須
- Q6_3

必須設定

回答必須
- Q6_4

必須設定

回答必須
- Q6_5

必須設定

回答必須

Q6

のれん取得後の会計処理としては,「減損処理のみ(非償却)」や「規則的償却+減損処理」以外にもいくつかの方法が理論的に考えられます。
 以下に挙げられたのれん取得後の会計処理方法についてご意見をおきかせください。
 (それぞれひとつずつ)

		望ましい	どちらかという と望ましい	どちらかという と望ましくない	望ましくない	わからない
	右の選択肢からお選びください					
利用者の立場から,以下の1から5の方法は『減損処理のみ(非償却)』または『規則的償却+減損処理』と比べて…						
1	減損処理なしの非償却(取得原価のまま)	1 ○	2 ○	3 ○	4 ○	5 ○
2	減損処理なしの規則的償却	1 ○	2 ○	3 ○	4 ○	5 ○
3	時価による継続的再評価(評価差額は純損益に反映)	1 ○	2 ○	3 ○	4 ○	5 ○
4	即時の一括費用計上	1 ○	2 ○	3 ○	4 ○	5 ○
5	剰余金(資本)との相殺消去	1 ○	2 ○	3 ○	4 ○	5 ○

次へ

0

50

100(%)

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

0 50 100(%)

Q7 必須設定 回答必須

Q7

現在、のれんの減損損失が適切なタイミングで計上されていない可能性があることが問題視されています。
そこで、のれんの減損損失の計上をより適時なものとするために、のれん控除後の純資産額(=純資産額-のれん残高)について開示を求めるというアイディアも示されています。
のれん控除後の純資産額について開示を求めることは、のれんの減損損失をより適切なタイミングで計上するよう促すことになると思われますか。
以下の選択肢の中から該当するものをひとつお選びください。

- 1 ○ 減損損失をより適切なタイミングで計上するよう促す
- 2 ○ どちらかという減損損失をより適切なタイミングで計上するよう促すことになる
- 3 ○ どちらかという減損損失をより適切なタイミングで計上するよう促すことにはならない
- 4 ○ 減損損失をより適切なタイミングで計上するよう促すことにはならない
- 5 ○ わからない

次へ

0 50 100(%)

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

0 50 100(%)

Q8 必須設定 回答必須

Q8

のれんを定期的に償却するか、非償却とするかは、一般的に企業の合併・買収(M&A)に関する意思決定に影響すると思われますか。
以下の選択肢の中から該当するものをひとつお選びください。

- 1 ☐ 影響を及ぼす可能性が高い
- 2 ☐ どちらかというに影響を及ぼす可能性が高い
- 3 ☐ どちらかというに影響を及ぼす可能性は低い
- 4 ☐ 影響を及ぼす可能性は低い
- 5 ☐ わからない

次へ

0 50 100(%)

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

0 50 100(%)

Q9

- カテゴリ 1.FA

必須設定 無回答可

入力文字数 400文字まで

Q9

最後に、本調査へのご意見・ご感想があれば以下の回答欄にご記入ください。

以上です。ご協力ありがとうございました。

次へ

0 50 100(%)

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

0 50 100(%)

回答確認ページ

送信

0 50 100(%)